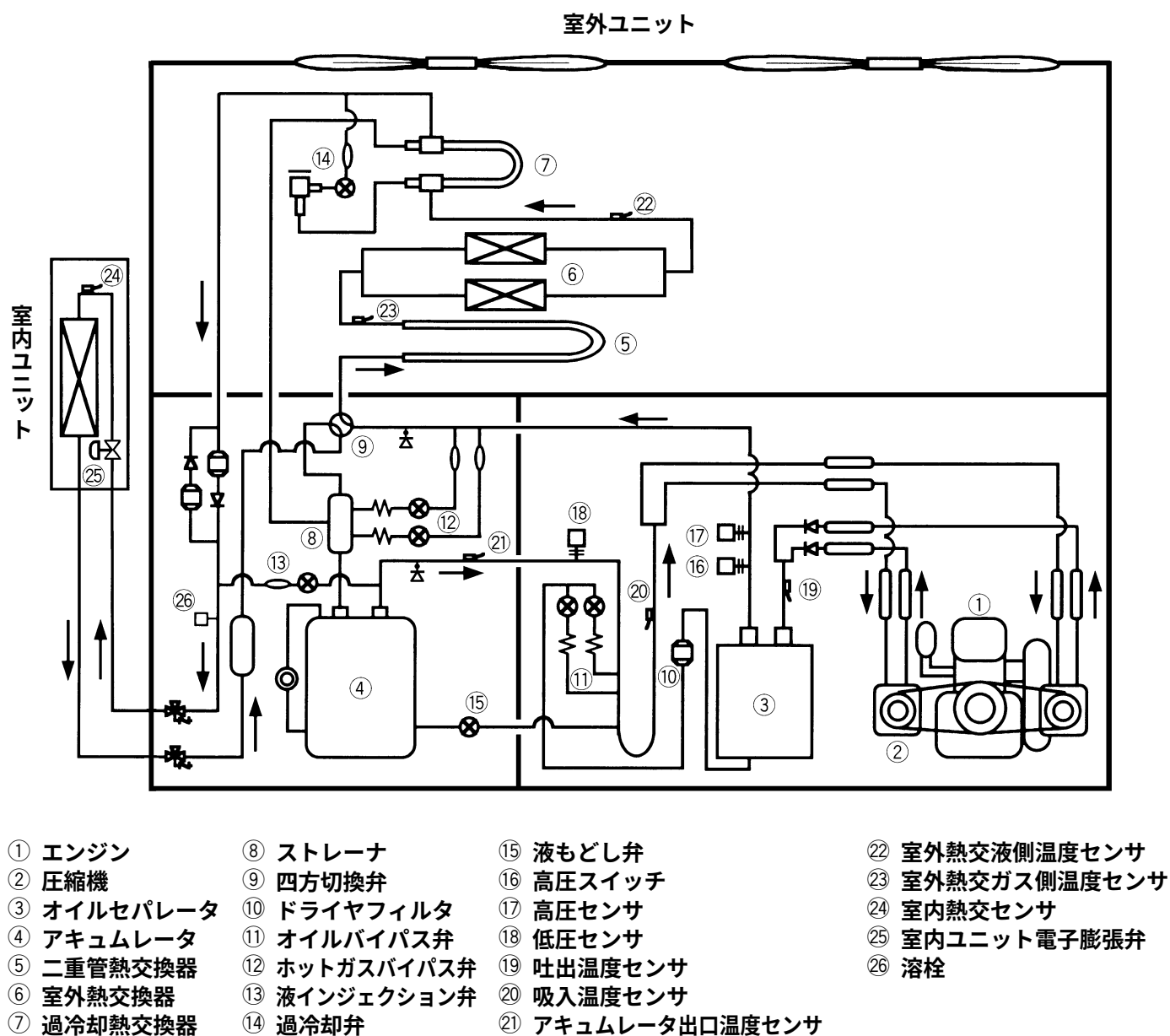


1.10 冷媒配管系統図

(1) GHCJ(P)224HM4A, 224HMT4A, 224HMT4A-C
280HM4A, 280HMT4A, 280HMT4A-C

(a) 冷房運転

圧縮機を出た高温、高圧の冷媒ガスは、オイルセパレータ、四方切換弁を通過した後、室外空気熱交換器へ導かれ、外気により熱を奪われ凝縮し、更に過冷却コイルにより冷媒液は過冷却状態となります。この冷媒液は室内ユニットの電子膨張弁で減圧され、室内空気熱交換器で蒸発します。この時、室内の熱を奪い気化し室外ユニットに戻り四方切換弁、アキュムレータを経て圧縮機へ戻ります。



(b) 暖房運転

圧縮機を出た高温・高圧の冷媒ガスはオイルセパレータ、四方切換弁を通過した後、室内熱交換器で室内へ熱を放出し凝縮・液化します。その後、室内ユニットの電子膨張弁で一時減圧された冷媒は、配管を通り、室外熱交換の過冷却コイルで冷却され液状態となります。この冷媒液は室外ユニットのしぼりで減圧され気液混合冷媒（液が多い）となり室外空気熱交換器で外気より熱を吸収し、さらに二重管熱交換器でエンジン排熱より熱を吸収し、気化します。気化した冷媒は、四方切換弁、アキュムレータを経て圧縮機へ戻ります。

